

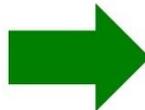
厚生労働省、いよいよインクルーシブ保育推進に本腰 「インクルーシブ保育のパイオニア」として現場を知るどろんこ会の提言が結実 全国で認可保育所と児童発達支援事業所の併設の障壁撤廃へ

厚生労働省（子ども家庭局保育課 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課）は2022年12月26日、認可保育所と児童発達支援事業所を併設するにあたっての障壁となっていた省令の改正と施行について、全国の保育主管課と障害児支援担当課に向けて「保育所等におけるインクルーシブ保育に関する留意事項等について」といった「事務連絡」文書を出しました。

省令改正のポイント

【従来の省令では・・・】

- ・同じ施設に通っているにもかかわらず、児童発達支援に通う障害児を保育園の保育室で保育することは**NG**
- ・児童発達支援センター・事業所側のスタッフが保育園に通う子どもを支援することは**NG**



【改正後（2023年4月より）】

- ・保育園も児童発達支援センター・事業所双方が同じ施設を共用でき、スタッフも双方の子どもの支援ができるように！
- ※利用児童の保育や障害児の支援に支障がない場合に限り

インクルーシブ保育のパイオニアとしてのどろんこ会

どろんこ会グループ（本社：東京都渋谷区／理事長：安永愛香）は、2015年にグループ初となる認可保育園と児童発達支援事業所を併設した多機能化モデルを東京都に立ち上げました。その後も障害の有無で子育てを分けない「インクルーシブ保育のパイオニア」として、埼玉県、千葉県、神奈川県、福島県にこの多機能化モデルを開設。中でも神奈川県横浜市では既存の認可保育園のスペースを活用して児童発達支援事業所を併設するという画期的な取り組みを実現しました。また、2023年4月には茨城県つくば市に認可保育園と児童発達支援事業所だけでなく、学童保育と放課後等デイサービス、4施設を併設するという新たな挑戦も控えています。

子育て現場での試行錯誤から生まれた提言を継続

しかし、認可保育園と児童発達支援事業所の多機能化モデルを立ち上げるにあたっては、自治体との事前交渉、建物設計、子どもたちの生活、交流・・・さまざまな場面で上記の障壁にぶつかり悩むこともありました。そこでどろんこ会グループは常に「全ての子どもをまん中に」考え、厚生労働省や内閣府はじめ関連省庁にも現場を運営してきたからこそできる縦割り行政や法令の課題についての提言を続けてまいりました。それが実を結んだ形となり、今回の省令改正はインクルーシブ保育の実践にあたり課題を解決する大きな一歩となりました。

今後も「インクルーシブ保育のパイオニア」としてこれまでに試行錯誤を繰り返してきた知見を存分に生かし、子どもたちだけでなく大人たち、地域の方々も巻き込み、さらなるインクルージョンを推進すべく、取り組んでまいります。

この「どろんこ会の多機能化モデル」は今、さまざまな自治体や関係機関から注目いただき、ご視察も多く受けております。引き続き、保育所の多機能化にご関心のある自治体・関係機関の皆様からのご視察、「乳幼児期からのインクルージョン」「障害児保育」といったテーマに関心のあるメディアの方からのご取材を積極的にお受けしてまいります。

「どろんこ会の多機能化モデル」について

2015年に東京都世田谷区に駒沢どろんこ保育園・発達支援つむぎ 駒沢ルームを開設。以来、埼玉、千葉、神奈川、福島の各県に展開。来年度以降も首都圏を中心に開設予定。

ただ単に同じ建物内に施設を設けるのではなく、障害や心身の発達に気がかりのある子どもたちは、発達支援の保育士をはじめ、心理職、作業療法士、言語聴覚士などの専門職員の支援を受けながら、保育所に通う子どもたちと共に育ち合えるような活動を実践しています。



開設年度	認可保育所名	児童発達支援事業所名	所在地
2015	駒沢どろんこ保育園	発達支援つむぎ 駒沢ルーム	東京都世田谷区
2016	ふじみ野どろんこ保育園	発達支援つむぎ ふじみ野ルーム	埼玉県ふじみ野市
2017	メリー★ポピンズ 桶川ルーム	発達支援つむぎ 桶川ルーム	埼玉県桶川市
2017	北千住どろんこ保育園	発達支援つむぎ 北千住ルーム	東京都足立区
2018	つつじヶ丘どろんこ保育園	発達支援つむぎ つつじヶ丘ルーム	東京都調布市
2018	宮下どろんこ保育園	発達支援つむぎ 宮下ルーム	千葉県君津市
2021	新羽どろんこ保育園※開園は2014年	発達支援つむぎ 新羽ルーム※既存園のスペースを活用して新設	神奈川県横浜市港南区
2021	八山田どろんこ保育園	発達支援つむぎ 八山田ルーム	福島県郡山市
2023 予定	(仮称) 内箕輪どろんこ保育園	(仮称) 発達支援つむぎ 内箕輪ルーム	千葉県君津市
2023 予定	(仮称) メリー★ポピンズ 海老名ルーム	(仮称) 発達支援つむぎ 海老名ルーム	神奈川県海老名市
2023 予定	(仮称) 香取台どろんこ保育園 ※(仮称) 香取台どろんこ学童も併設	(仮称) 発達支援つむぎ 香取台ルーム ※放課後等デイサービスも併設	茨城県つくば市

どろんこ会グループについて

どろんこ会グループ（社会福祉法人どろんこ会、株式会社ゴーエスト、株式会社日本福祉総合研究所、株式会社南魚沼生産組合、株式会社 Doronko Agri）は全国約 150 箇所に認可保育園、認証保育所、事業所内・院内保育所、学童保育室、地域子育て支援センター、児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、就労継続支援 B 型事業所などを運営。次代を担う子どもたちの「にんげん力」を育む体験型保育・自然保育を行う。幼児期の性教育や男性保育士比率の高さなど、各種メディアでもその取り組みが紹介されている。

1998年設立。職員数約 2000 人。利用者家庭数約 6000 家庭（2022年12月現在）

HP : <https://www.doronko.jp/> Facebook : <https://www.facebook.com/doronkokai/>

Twitter : @doronko_offical Instagram : @doronko_official/

Youtube : <https://youtu.be/d-SV7YuQmIM>

【本ニュースレターに関するお問い合わせ先】

どろんこ会グループ（東京都渋谷区渋谷 1-2-5 MFPR 渋谷ビル 13F）
広報部 松本 TEL : 03-5766-8059 Email : koho@doronko.jp